



今月のトピック

This month's main topics

「猫の日」に開催した上棟式に 猫好き、本好きが集まってくれました

2月22日の「猫の日」に上棟式を行いました。10日前にはまだ基礎部分しかできておらず、本当に間に合うか本気で心配しましたが、設計・監理の早川慶太さんに訊くと「大丈夫！」とのこと。その言葉通り、加工された木材が搬入されると、ホンの4、5日であっという間に組み上げられました。驚きです！

上棟式というのは本来、職人さんをねぎらうために行うものですが、今回は近所の人やコミュニティスペースの利用者になってくれそうな方に知ってもらうことを目的として開催しました。午前11時から午後4時まで古本市を開いて、午後にはネコの居場所を監修してもらったいしまるあきこさんのミニセミナー、午前と午後には僕のオーナートークを1回ずつというプログラムです。

いしまるさんのミニセミナーでは、猫も人も無理をしないで仲よく暮らせる住まいについてお話いただき、このアパートもそんな暮らしができるような設計になっていることを来場した方々にお伝えしました。

ここにできる一冊図書館「句読点」は「みんなの図書館」（みんとしよ）の姉妹館になるのですが、みんとしよネットワークを活かした試みも行いました。山梨県八ヶ岳南麓で「ひだまり」を開いた田中まり子さんが、同じ日に山梨県でプレオープンを迎える「スギナ文庫」のイベントに招かれた縁で、田中まり子さんから声をかけていただき、イベント中に「スギナ文庫」と動画でつないでみたのでした。

メッセージャーで動画通話を始めると、みんとしよアンバサダーの宮崎一徳さんがちょうど駅の方から歩いて来て山梨側と挨拶して盛り上がるなど、ちょっとした上棟式のアクセントになりました。「句読点」の本棚オーナーに興味を持って、この日の古本市に出てくれた方も、みんとしよネットワークの全国的な広がりを体感してくれたのではないかと思います。

本の関係では、他にも道路沿いにブックトレード式の「めぐる本箱」を設置しました。「1冊置いて、1冊どうぞ」というシステムで、わざわざ一度家に帰って本を持参して、交換してくれた方もいて、1日で7冊が入れ替わっていました。

今回、一般的な上棟式で行われる餅まきはやりませんでした。

その代わりに、アンケートを書いてくれた人に猫のおやつをお渡しするとともに、人用としては猫の肉球型ビスケットを用意しました（当日、バタバタして肉球ビスケットを多くの人に渡しそびれてしまったのは反省です）。

2月22日は天気もよく、想像以上の賑わいになりました。30人近くの知り合いが来てくれたのですが、すべての人がこのプロジェクトを始めてから、つまり2023年の年末に「ちっちゃい辻堂」を訪ねて石井光さんにお会いした時以降に知り合った方たちでした。「大家の学校」「みんとしよ」「Edible park 茅ヶ崎」「Cの辺り」などのコミュニティから多くの人が足を運んでくれて、この2年ちょっとの間に生まれたたくさんのお会いに感謝です。

今月のお知らせ

This month's news



内覧会のご案内

上棟式では柱だけでしたが、すでに壁や窓が設置され、だいぶ部屋のイメージがつかめるようになりました。内覧会は4月12日（日）、5月24日（日）、6月21日（日）、7月12日（日）の、それぞれ午前10時からを予定しています。（写真：コワーキングスペースもサイズ感が見えてきました）

「ホンとネコの居場所」

オーナーが語る

本や猫や映画やあれこれ

Owner's voice

Books

no.07

地域課題に活発に取り組む 茅ヶ崎のコミュニティ

編著者の石山恒貴さんは越境的学習などを研究領域としている法政大学大学院政策創造研究科の教授です。研究室のメンバー15人が著者となり、「強制されない自発性＝ゆるさ」が地域や人に必要だとの考えをベースに、全国各地にある17のサードプレイスを紹介するのが『ゆるい場をつくる人々』です。

事例1は『まちの非武装地帯』としてのコワーキングスペースと題された「チガラボ」です。そのほか、チガラボと関係が深い「Edible park 茅ヶ崎」「サステナブル研究会@湘南」「とまり木」「NPO 法人セカンドワーク協会」「NPO 法人湘南スタイル」も紹介されていて、チガラボがいかに地域コミュニティのハブとしての役割を担っていたかを物語っています。表紙のイラストは、「チガラボチャレンジ」でグラフィックレコーディングを担当していたDOTさんが手がけています。

『コミュニティ・オーガナイズリング』には「ほしい未来をみんなで創る5つのステップ」というサブタイトルがついて、実践的な内容です。「Cの辺り」の池田一彦さんたちが、まちをまるごと仮想会社として見立てた、地域の人材プラットフォーム「茅ヶ崎カンパニー」をつくるにあたり参考にしたといいます。その著者の鎌田さんは2025年に茅ヶ崎に移住して、現在、「茅ヶ崎カンパニー」のメンバーになっているという奇跡。



石山恒貴編著
『ゆるい場をつくる人々』



鎌田華乃子
『コミュニティ・オーガナイズリング』

Cats

no.04

『うちのにゃんず』 どんなおもちゃが気に入るか問題

あおぼとこまちを迎えるにあたり、いくつかおもちゃを用意しました。しかし、「猫あるある」ですが、どれも長続きしません。魚が先端についた猫じゃらしは、あおぼの噛む力が強いからか、魚に喰いついて数日で棒が折れてしまいました。トンボがついたものは無惨にも羽がむしり取られて、あっという間にイモムシになってしまいました。「けりぐるみ」のサメもすぐに飽きたようです。そこで、保護猫団体の預かりさんに訊いてみることにしました。(続く)



Official WebSite & SNS

ウェブ情報のご案内

WebSite Information



公式サイト

『ホンとネコの居場所』の公式サイトです。



Instagram

イベントの開催、本の紹介、現場の様子などを発信中。



note (オーナー)

オーナーのnoteです。本や猫などについて書いております。